

研究課題名	悪性新生物を合併した炎症性腸疾患患者の臨床的特徴についての検討
研究の意義・目的	炎症性腸疾患は潰瘍性大腸炎やクローン病などの消化管の粘膜に慢性炎症または潰瘍を引き起こす疾患の総称です。慢性炎症は発がんのリスク因子であることが知られています。また治療に免疫を抑える治療を用いることで、がんを引き起こすこともあります。この研究ではそういったリスクをふまえて、がんを合併した炎症性腸疾患患者さんにはどんな特徴があるのか、がんを早期に見つけるにはどれくらいの頻度で検査をすべきかなどを明らかにすることを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2007 年 9 月~2024 年 3 月に大阪公立大学医学部附属病院に通院中の悪性新生物を合併した炎症性腸疾患患者が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、病歴、診断名、既往歴、内服薬、発症年齢、罹病期間、 <ul style="list-style-type: none">炎症性腸疾患治療期間、悪性新生物の診断方法、悪性新生物の病期、悪性新生物の治療日・治療方法、悪性新生物治療後の予後、悪性新生物治療後の炎症性腸疾患への治療法身体所見：身長、体重、血圧、体温、腹部所見血液検査所見、病理検査結果、胸部 X 線、CT 画像、MRI、内視鏡検査
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究責任者】細見 周平
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科 担当者氏名：細見 周平 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：shuhosomi@omu.ac.jp